EFE® EXPORT FURNITURE EXHIBITION

9 - 12 March 2019

KLCC • KUALA LUMPUR, MALAYSIA

MEDIA PUBLISHING

JAPAN

（公社）日本専門新聞協会加盟紙　（昭和47年5月10日第三種郵便物認可）

JAPAN SPECIALIZED NEWSPAPERS ASSOCIATION 公益社団法人 日本専門新聞協会 www.senmonshinbun.or.jp

平成30年（2018年）6月5日（火）第1738号

発行所／©株式会社　アイク
編集発行人／長島貴好　発行日／旬刊・毎月3回（5日・15日・25日）
一年間購読料［前納制］／本体価格32,407円（税込み35,000円）・海外購読／40,000円（送料込）本社・〒111-0024東京都台東区今戸2丁目24-7
電話／営業03-3872-8822・編集03-3872-8610・販売03-3872-8745・総務03-3872-8741／FAX 03-3872-8874（代表・営業）、03-3872-8785（編集）

ホームリビング

家具とホームファニシングの専門紙　THE HOME LIVING

http://www.homeliving.co.jp　E-mail: aik@homeliving.co.jp（日本国内）　oversea@homeliving.co.jp（Only for overseas）

【編集綱領】公平・真実・指針

中国南通市が世界最大級の繊維生産地に
寝具寝装品で世界市場へ進出

テキスタイル、ファブリックスの分野が日本の家具インテリア販売店で販売構成比率を増してきた。本紙でも古くからベルギーのムード（旧名称デコジット）、ハイムテキスタイル、パリのメゾン・エ・オブジェなどを取材してきた。近年はトルコ、イタリア他から家具・室内装飾のフェア招待が寄せられ、なかでイタリアのプロポステが国内産地の繊維見本市として注目されている。

日本の住生活に関わるのはカーテン、カーペット、寝具・寝装品、ハウスウェアなど。中でベッドリネン、上掛け、ピローなどの寝具寝装品（ベッド含む）が30％以上の販売比率を占めている。こうした傾向が強まるなか、中国の江蘇省南通市（ナントン）が中国のテキスタイル製品生産地として、中国全体の寝具寝装品、ピロー、ホームウェア類出荷額の70％以上を占める一大繊維製品産業集中地として、改めて日本市場へ目を向けてきた。

起源は清の時代に遡るが、中央、地方行政府の財政投融資により、繊維産業の育成強化が図られ、年間出荷額約1兆7000億円、総企業数約3000。また、市内に100万㎡のテキスタイル、ファブリックス市場を造成し、約1000企業が大中小規模のショールームを構える。また、川姜鎮の「南通家紡城」など、幹道の両脇に広がる市場街を幾多の紡城ゲートで括り、世界のバイヤー動員を計っていた。（長島）

①家紡城ゲート　②市場内ショールーム群　③メーカーショールーム　④寝具寝装品工場

「ホームリビング」電子版
本紙の内容がそのまま電子新聞になりました。社内で、出張先で、ご自宅で、ますます便利にご購読いただけます！
紙媒体とセットで1年間¥40,000-（税込）お申込・お問合わせは　http://homeliving.co.jp/

ライフスタイル総合 EXPO 2018 夏 内（旧GIFTEX）
第2回 国際 インテリア＆家具EXPO 夏
通称：インテリア 東京 夏
会期：2018年7月4日［水］～6日［金］10:00~18:00（最終日のみ17:00終了）
会場：東京ビッグサイト
主催：リード エグジビション ジャパン（株）

過去最多 世界41カ国から2,440社[※1]が出展！ ぜひ ご来場ください

出展対象製品
- テーブル・椅子
- カーテン
- 寝具・家具
- 時計
- インテリアアート
- 収納ラック
- オブジェ
- 照明
- ラグ・ファブリック
- バス・ランドリーグッズ
- インテリア家電
- 観葉植物
- ガーデン家具
- その他インテリア小物　…など

※1 国数（同時開催展を含む）出展社数（共同出展社含む）、は2018年3月22日時点の最終見込み数。開催時には増減の可能性があります。

EXPO 検索

［お問合せ］主催者 リード エグジビション ジャパン（株）
国際 インテリア＆家具EXPO 事務局 TEL：03-6362-6785

国際ニュース＆レポート

EFEの魅力と課題（終）
アジア市場へ輸出を強化
ラバーウッド材の家庭用家具

今号でEFEの連載を終える。フェアの略称は輸出促進家具展の英字から採ったもの。他に同時期　歴史を持つMIFFの開催を同じクアラルンプールで回を重ねてきた

筆者がMIFFの取材招待を他所に　EFEの取材を選択した理由は二つ　MIFFは開催初期のころから取材してきたが　出展内容がホームユースからコントラクトへのシフトが顕著になってきたこと　もう一つは製品の素材が木製から金属製　工業複合素材（樹脂他）を使用、マレーシアの特性（ラバーウッドなど）の味わいを薄めてきたことだ

その点でEFEは他国出展もあるもの　マレーシアの地場製品で木製を主にダイニングセット、ベッドなどに注力、これに応接セット、リビングルームなどが加わり「日本市場に親しみやすい」（日本の大手販売店バイヤー）という評価が長く続いてきた

今回も連載したようにルーム、カテゴリー別に5分野の審査を招待メディアがしたが、日本市場のニーズ視点からみても、マレーシア家具協会としての対応は中国　日本市場へ向けていた

例えば蔡会長がプレスコンファレンスで強調した①国際木材協会のポリシーによりエコロジー、クリーンウッドなどへ配慮する、②バイヤーを多数来場動員して、マレーシアの家具企業の向上を促進する　③現在　マレーシア家具のトップ輸入国は米国だが　2位の中国がやがてトップになるだろう　当協会としてもEFEを通じ　中国と強く提携を図る──と語っていた

一方　2017年インドへの家具輸出が21・6%増進した　中国と共に人口大国だが　特にイスラム教という宗教での繋がりも持つ　中国には既に5カ所へマレーシア家具協会関連オフィスを構える　インドに対しても各種テーマに基づいた提携強化を考えている

蔡会長が一貫して語るのはEFEマレーシア政府の唯一の公認組織が開催するクオリティショーというもの　また　他のフェアより出展料も30%安く　真に国内家具産業の振興を目指したものだ

そうした催事意図と内容は　今回珍しく会期一杯滞在し　取材した筆者にも理解できた（長島）

木製ダイニングセット

出展を増したベッド

PROPOSTE

コモ湖畔に集う一流のテキスタイル
開催地コモのファミリー経営企業
少量多品種、細やかな技術をアピール

フェアを開催したコモは　シルクにはじまるイタリアの織物産地として知られる

同展にも数多くのコモの企業が出展した。ヴィンチェンゾ・モルテーニ社（VINCENZO MOLTENI）はジャガード織物を生産するファミリー経営の企業　現社長のエマヌエーレ氏の父が1960年代に創業し　エマヌエーレ氏が販売を、妻のロレッラ氏が製品の研究開発を担当している

年間約30万mの布地を生産する同社は　糸の染色や糸の組み合わせといった細かな技術に強みをもつ。エマヌエーレ氏は「小さい企業だからこそ大手の大量生産品と差別化を図るために　糸は50～60種　染料は1000種以上と数多く揃え　特にそれを組み合わせる技術には自信がある」という。パターンも大量にあり　高度な技術が要されるものにも対応する　なかでも　リネンとコットン素材には強いという

展示ブースでは、絣を彷彿とさせるデザインのインディゴカラーの布地などを訴求。このパターンは織り方が非常にデリケートで難しく、提供できる企業も少ないとエマヌエーレ社長はアピールした

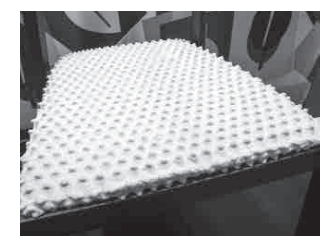
同社の市場は7割が米国　2割がイタリア国内　ほか　ロシアや日本に輸出する　現在　マナトレーディングに不燃のポリエステル生地を販売するが　日本は少量高品質が求められる市場と感じており、今後もっと開拓していきたいと考えているそうだ

価格は　生地幅1・4mの布地で　1mあたり12～30ユーロほど　ミニマムオーダーは100mに設定するが、パターンなど一緒に生産できるものであれば　2種類の布地を50mずつといったオーダーも可能だと話した

コモのグランダーテに位置する、クレリッチ・テッスート社（CLERICI TESSUTO）は　1922年に創業し年間250万m以上を生産する織物メーカー。パリとニューヨークに現地法人をもつ　今回　刺繍の一種だという技術で突起のようなテクスチャーを表現した、3Dの布地を訴求して注目を集めた。素材はコットンポリエステル。ブースでは、生地を張ったチェアを展示した　価格は1mあたり87ユーロだという

（取材協力・イタリア貿易促進機構／続く　大塚）

ヴィンチェンゾ・モルテーニ社のブース



3Dの布地（クレリッチ・テッスート社）

ハーマンミラージャパン

名作チェアやテーブルなどラインナップ
ウォード・ベネット氏デザインの製品発売

米国に本社を置く家具メーカー、ハーマンミラージャパン（東京都千代田区）は、ウォード・ベネット氏がデザインした「ランドマークチェア（Landmark Chair）」、「シザーチェア（Scissor Chair）」、「スレッドチェア（Sled Chair）」「H－フレームテーブル（H－Frame Table）」「I－ビームテーブル（I－Beam Table）」の販売を開始する

ランドマークチェアは1964年にデザインされた名作　洗練された優雅なラインをもつ同製品は　機能やクラフトマンシップ、美しさを求める同氏のデザインエッセンスを表現している

籐製またはファブリックス張りのタイプがあり、幅広いオプションのファブリックスやレザーから張り地を選択することが可能となっている。価格は　36万3000円（税別）から

シザーチェアは19世紀半ばのブライトンビーチのハンモック型チェアにインスピレーションを得て　1964年に最初のシザーチェアをデザイン　その後改良を加え洗練されたデザインのチェアに仕上がっている。フレームはメタルまたはウッドから選択可能。幅広いオプションのファブリックスやレザーから張り地を選ぶことができる　価格は36万9000円（税別）から

スレッドチェアはX状に溶接されたチューブラースチールのベースが特徴のチェア。存在感あるデザインと快適な座り心地によって1966年にデザインされて以来　愛され続けている　価格は60万円（税別）から

洗練されたデザインと正確なプロポーションのH－フレームテーブルはサイドテーブルとコーヒーテーブルがあり、いずれもトップは、ウッド、ガラス、ストーンから選択できる　価格は　サイドテーブルが20万6000円から、コーヒーテーブルが44万円（税別）から

ウォード・ベネット氏は　50年以上にわたるキャリアの間、宝飾品や洋食器からチェアや住宅に至るまで　様々なものを生み出したニューヨークのデザイナー。

1999年からハーマンミラーのグループ企業となったガイガー社と1987年にはコラボレーションも始まった。

シザーチェア

ランドマークチェア

EFE® EXPORT FURNITURE EXHIBITION 马来西亚国际出口家具展

www.efe.my　+603 6270 9332　info@efe.my　EFE Malaysia